

# 環境報告書 2011



記録的な猛暑となった、  
2010年夏の都田総合公園

環境計量証明機関並びに作業環境測定機関として、社会に貢献すると共に、  
環境の保全及び継続的改善, 向上を着実に推進します。

平成 23 年 5 月

社団法人 静岡県産業環境センター

## 目 次

はじめに .....	2 頁
I. 法人概要 .....	2 頁
II. 2010 年度 環境方針 .....	3 頁
III. 2010 年度 環境マネジメントシステム 組織図 .....	4 頁
IV. 2010 年度 環境管理活動の実績とその評価	
1. 2010 年度 環境目的・目標 .....	5 頁
2. 2010 年度 重点管理項目 .....	13 頁
V. 2010 年度 環境関連法規の違反・訴訟・苦情等 .....	16 頁
おわりに：2011 年度の活動に向けて .....	16 頁
[参考資料] 2010 年度 環境管理活動実績一覧 .....	17 頁

本書では、年度の表記について、西暦と和暦を併用しています。

2010 年度を平成 22 年度と表記している箇所がありますが、その期間は同一です。他の年度についても、同様です。

## 【はじめに】

当センターは 1999 年に ISO14001 環境マネジメントシステムの認証を取得し、今日まで環境管理活動を推進して継続的改善に努めています。

本書では、前年度にあたる 2010 年度（2010 年 4 月 1 日から 2011 年 3 月 31 日まで）の活動実績を報告いたします。2010 年度は、2009 年度の電力使用量が目標値を大幅に上回ってしまったため、電力使用量の削減活動を重点的に行いました。

## I. 法人概要 [2011 年 4 月 1 日現在]

名 称	社団法人 静岡県産業環境センター
所 在 地	静岡県浜松市北区新都田一丁目 4 番 6 号
設 立	1972 年（昭和 47 年）5 月 18 日
法人許可	1972 年（昭和 47 年）12 月 11 日
基 本 金	1,000 万円
代 表 者	理事長 中村信吾（中村建設(株)代表取締役社長）
役 員	理事 17 名、監事 2 名
職 員	57 名
認証取得	1999 年（平成 11 年）ISO14001 環境マネジメントシステム取得 テュフラインランドジャパン登録認証番号 09 104 8207
事業内容	<p>水質部門</p> <p>水質分析（工場排水、下水、河川水、湖水、海水等）／農薬分析 工業用水性状試験／ダイオキシン類、環境ホルモン分析</p> <p>労働衛生部門</p> <p>作業環境測定／石綿含有分析／労働衛生コンサルティング 局所排気装置検査／シックハウス関連調査</p> <p>大気部門</p> <p>ばい煙測定（ボイラー、焼却炉等）／有害大気汚染物質調査 ダイオキシン類測定／降下粉じん量測定／集塵機性能試験</p> <p>土壌・地下水部門</p> <p>土壌、地下水汚染調査／土壌ガス調査／観測井戸設置</p> <p>その他</p> <p>騒音、振動測定／悪臭測定／環境アセスメント／産業廃棄物試験 肥料、飼料分析／上水試験／各種環境教育／各種バリデーション</p>

### 当センター全景



（正門前より撮影：裏表紙のサイト概要図参照）

### 静岡県産業環境センター 環境方針

わたしたちは、環境計量証明機関並びに作業環境測定機関として、永年にわたり培ってきた信頼のおける測定分析データとこれらの評価に基づく環境改善技術等を駆使し、社会に貢献すると共に、環境の保全及び継続的改善、向上を着実に推進します。

1. 地球環境の保全活動を円滑に推進するため、機能的な組織を設けます。
2. 環境測定及び分析事業等に伴って発生する環境影響を的確に把握し、常に継続的改善を図り環境負荷低減を推進します。
3. 環境関連法規制を遵守すると共に、より厳しい自主基準を定めて管理します。
4. 事業活動に伴う環境負荷を低減するため、下記の事項を推進します。
  - (1) 省エネルギーの推進・温室効果ガスの低減、削減
  - (2) 廃棄物（産業廃棄物・一般廃棄物）のリサイクル及び低減
  - (3) 有害化学物質の使用の中止及び取扱量の削減
  - (4) グリーン調達
5. 事故及び緊急時の環境負荷を防ぐよう予防措置に努め、防災訓練を行います。
6. 環境測定分析並びに環境関連教育を通し、地域の環境管理を支援します。
7. 当法人に係るすべての人に対し、環境に関する意識の向上を図るための教育及び広報活動を行います。
8. 環境管理の実施状況について、必要に応じて社内外に公表します。

(この環境方針は、社内外に公表します。)

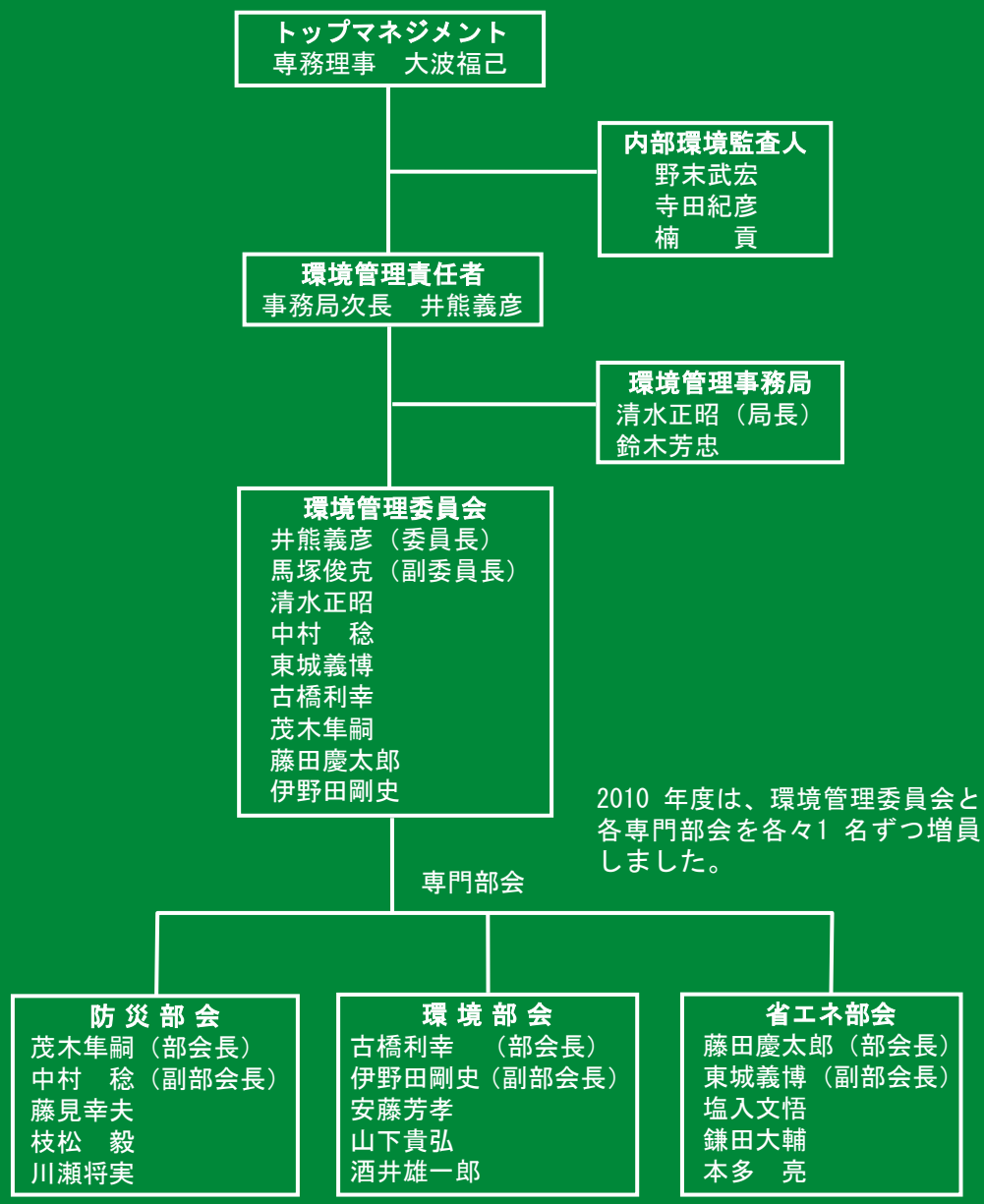
平成 21 年 5 月 1 日

社団法人 静岡県産業環境センター

専務理事 大波 福己

2009 年度に発行したものを継続しています。

Ⅲ. 2010 年度 環境マネジメントシステム 組織図



#### IV. 2010 年度 環境管理活動の実績とその評価

##### 1. 2010 年度 環境目的・目標

###### (1) 環境目標の達成状況

目的	環境目標		達成度		平成 22 年度 実績	比較基準値
	中長期目標	短期目標	中長期	短期		
1. 電力の使用 量削減	平成 24 年度 までに平成 21 年度比で 3%削減	平成 22 年度 に平成 21 年 度比で 1%削 減	経過中	<b>不達成</b> 6.5 % 増加 (※1)	電力使用量 561,082 kwh	電力使用量 563,912 kwh
2. 社有車の実 燃費向上 (※2)	平成 23 年度 までに平成 20 年度比で 5%向上	平成 22 年度 に平成 20 年 度比で 4%向 上	<b>達成</b> 5.5 % 向 上 (※3)	<b>達成</b> 5.5 % 向 上	総年間走行距離 257,086 km 総年間給油量 23532.98 L 実燃費 10.92 km/L	総年間走行距離 268,663 km 総年間給油量 25946.76 L 実燃費 10.35 km/L
3. 防災対策の 強化	平成 23 年度 までに必要な 設備に対して 耐震固定対策 を完了	平成 22 年度 に必要な耐 震固定対策 の 1/2 を実 施 (※4)	経過中	<b>達成</b> 67 % 実 施	実施した対策 の購入経費 883,738 円	全対策に要する 購入予算額 1,317,050 円
4. 会員及び取 引先事業所 の環境教育		悪臭実務研 修会及び騒 音・振動測定 実務研修会 の開催		<b>達成</b>	各 1 回開催	

###### 追記事項

- (※1) 電力使用量の削減率は、各年度の事業売上額で補正しています。
- (※2) 実燃費は、全ての社有車の総年間走行距離を総年間給油量で割った値としています。
- (※3) 中長期目標については、達成期限が平成 23 年度ですが、平成 22 年度において既に達成しています。
- (※4) 対策の実施割合は、対策に要する経費を基準として設定しています。

## (2) 電力の使用量削減

平成 21 年度は、事業統合<sup>(※)</sup>に伴う増加量が想定量を大きく上回ったため、短期目標を達成することができず、平成 22 年度までの中長期目標も達成が絶望的となりました。

そこで平成 22 年度は、経過中の中長期目標を断念して新たな目標を策定し、その達成を目指して削減活動を重点的に行いました。(※ 平成 21 年 1 月より旧篠ヶ瀬事務所を本サイトへ統合)

年度	電力使用量 (売上補正前)	事業売上額	補正係数	電力使用量 (売上補正後)	比較結果	短期目標値	短期目標 達成度
平成 21 年度	563,912 kwh	569,999 千円	/	563,912 kwh	(比較基準)	(比較基準)	/
平成 22 年度	561,082 kwh	532,485 千円	1.070	600,358 kwh	6.5%増加	1%削減	不達成
備考	① 補正係数 = 比較基準年度の事業売上額 / 当該年度の事業売上額 ② 電力使用量 (補正後) = 補正係数 × 電力使用量 (補正前)						

電力使用量のデータは上表の通りです。

売上補正前では 0.5%減少していますが、事業売上額が比較基準年度より 7%程減少したことにより、売上補正しますと増加側に転じて売上補正後は 6.5%増加となり、昨年度の反省に基づき削減活動を実施してきましたが、短期目標 (1%削減) を達成することはできませんでした。

次年度は、今年度の取り組みに加え、さらに削減活動を推進していくこととしました。尚、これまで行ってきた売上補正についても次年度検討することとしました。

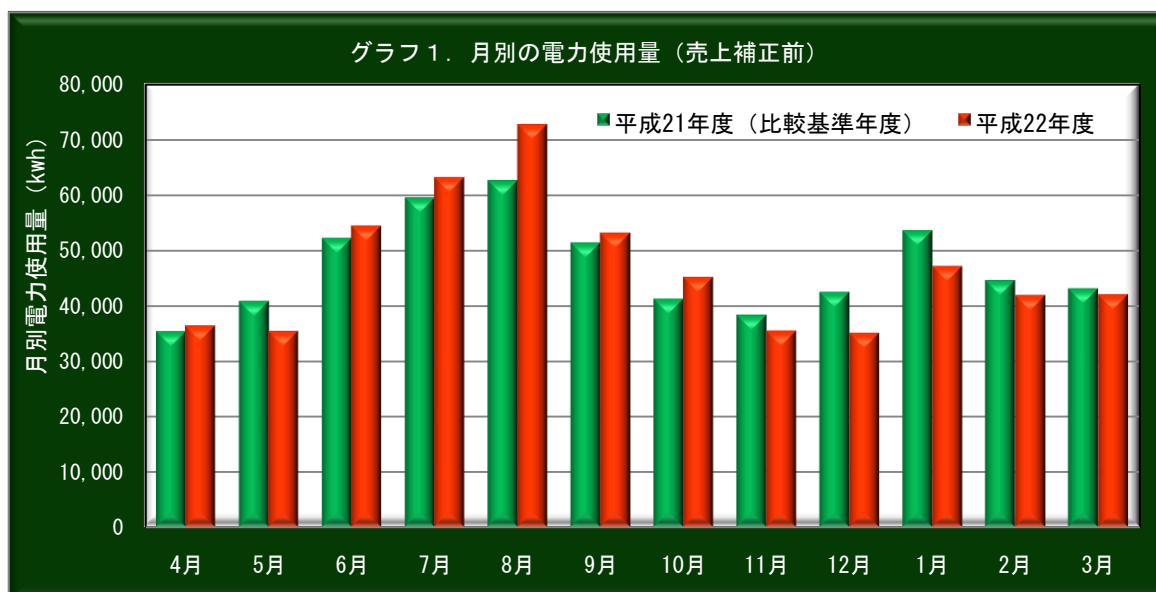
### [平成 22 年度の取り組み]

- |                      |                        |
|----------------------|------------------------|
| ① 省エネ・省資源の心得の再徹底     | [全社員教育での教育]            |
| ② 平成 21 年度省エネ緊急対策の継続 | [夏季冷房期間、次年度以降の設定温度の確定] |
| ③ エアコン・冷蔵庫等の設定温度の再確認 | [設定温度の妥当性確認、設定温度の再設定]  |
| ④ 電力消費量の検証           |                        |

### [補足データ]

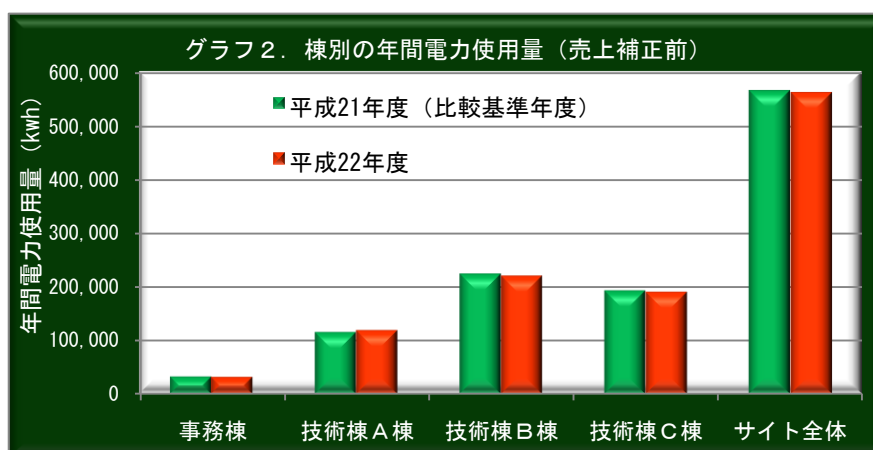
月別の電力使用量を、グラフ 1 に示します。

平成 22 年度は、記録的な猛暑により 8 月をピークとしてその前後が増加していますが、それ以外の時期にはおおよそ減少しています。



サイト内の棟別の年間電力使用量を、グラフ2に示します。

棟別の使用量では、技術棟A棟のみが僅かに増加し、他棟は減少傾向にあります。



### (3) 社有車の実燃費向上

平成21年度より、保有する20台の社有車を対象として、実燃費の向上に取り組んでいます。目標値とする実燃費は、社有車全体をひとつにまとめた次式による値とし、個々の社有車の燃費向上に加え、低燃費車の優先使用も改善の成果に繋がるようにしています。

$$\text{実燃費} = \frac{\text{総年間走行距離}}{\text{総年間給油量}} = \frac{\text{各社有車の年間走行距離の総和}}{\text{各社有車の年間給油量の総和}}$$

平成21年度には中長期目標(3%向上)を単年度で達成する大きな成果が得られたため、平成22年度は中長期目標を上方修正(5%向上)し、短期目標を4%向上としました。

年度	総年間走行距離	総年間給油量	実燃費	比較結果	短期目標値	短期目標達成度
平成20年度	268,663 km	25946.76 L	10.35 km/L	(比較基準)	(比較基準)	
平成21年度	255,274 km	23784.58 L	10.73 km/L	3.7%向上	1%向上	達成
平成22年度	257,086 km	23532.98 L	10.92 km/L	5.5%向上	4%向上	達成
備考	① 平成20年度は、事業統合前の旧篠ヶ瀬事務所の社有車として使用したデータを含む。 ② 各年度とも、保有車両20台は、全てガソリン車でレギュラーガソリンを使用。					

実燃費データは上表の通りです。

平成22年度は実燃費が5.5%向上し、短期目標(4%向上)はもとより翌年度までの中長期目標(5%向上)までも達成することができました。

#### [平成22年度の取り組み]

- ① エコドライブの教育と徹底
- ② 整備点検の徹底
- ③ 各社有車の燃費の明確化
- ④ 低燃費車の優先使用
- ⑤ 買い替え時や新規導入時のエコカー導入の検討

#### 社有車のエコドライブ宣言表示

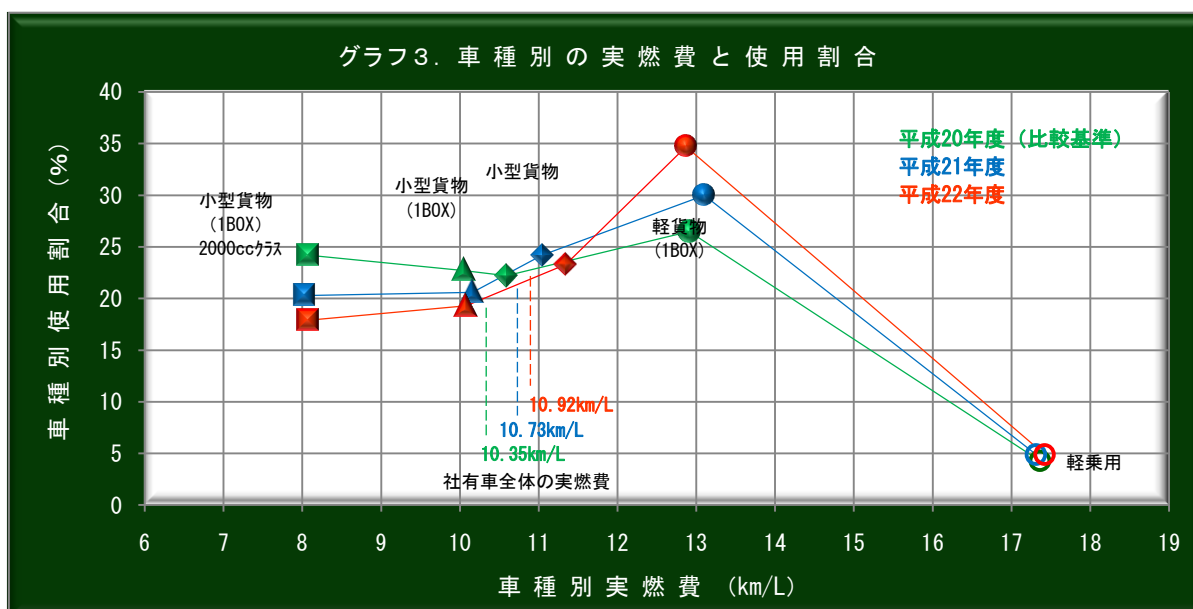


〔補足データ〕

車種別のデータは下表の通りであり、表中の車種別実燃費と車種別使用割合の関係をグラフ3に示します。

取り組みの中では、車両更新時の小排気量化が、最も効果的な対策となっています。平成22年度は、前年度末（平成21年度2月）の車両更新時に小排気量化した効果が年間を通して表れ、社有車全体の実燃費の向上に大きく貢献しています。

データ項目	年 度	車 種 構 成 (全てガソリン車でレギュラーガソリン使用)				
		小型貨物(1BOX) 2000ccクラス	小型貨物(1BOX)	小型貨物	軽貨物(1BOX)	軽 乗 用
保有台数	平成20年度	6台	4台	4台	(※A) 5-5台	1台
	平成21年度	(※B) 6-5台 ☀️	4台	4台	(※B) 5-6台 ☀️	1台
	平成22年度	5台 ☀️	4台	4台	6台 ☀️	1台
車種別実燃費	平成20年度	8.08 km/L	10.05 km/L	10.59 km/L	12.91 km/L	17.36 km/L
	平成21年度	8.03 km/L ☁️	10.16 km/L ☀️	11.04 km/L ☀️	13.10 km/L ☀️	17.31 km/L ☁️
	平成22年度	8.08 km/L	10.08 km/L ☀️	11.34 km/L ☀️	12.87 km/L ☁️	17.42 km/L ☀️
車種別使用割合 (走行距離 <sup>※</sup> -)	平成20年度	24.2%	22.7%	22.2%	26.5%	4.3%
	平成21年度	20.3% ☀️	20.6% ☀️	24.2% ☀️	30.0% ☀️	4.9% ☀️
	平成22年度	17.9% ☀️	19.3% ☀️	23.3% ☀️	34.7% ☀️	4.9% ☀️
備 考	① 平成20年度(※A)10月に1台、軽貨物(1BOX)を同等車種に買い替え。 平成21年度(※B)2月に1台、小型貨物(1BOX)2000ccクラスを軽貨物(1BOX)に買い替え。 ② 車種別実燃費 = (車種別の年間走行距離の総和) / (車種別の年間給油量の総和) ③ 車種別使用割合 = (車種別の年間走行距離の総和) / (全社有車の総年間走行距離) ④ 平成20年度を基準とした社有車全体の実燃費の向上に対して、☀️はプラス要素、☁️はマイナス要素。					



【グラフ説明】

- ① 横軸の車種別実燃費は、エコドライブ・整備点検等による成果の指標となり、右ヘシフトするほど成果が表れたこととなります。
- ② 縦軸の車種別使用割合は、低燃費車の優先使用と車両更新時の小排気量化等による成果の指標となり、左方に位置する車種別実燃費の劣る車種は減少するほど、右方に位置する車種別実燃費の優る車種は増加するほど、成果が表れたこととなります。

#### (4) 防災対策の強化

分析装置や試薬棚等の耐震固定対策が急務となっていました。対象となる物品が大量で対策を一気に完了できないため、平成 21 年度から 3 年掛けて分割して実施し、平成 23 年度に全てを完了させることとしました。短期目標値としては、資金調達を考慮し、対策に掛かる経費を基準とする実施割合を設定しています。

平成 21 年度は目標値以上の成果を上げて順調に推移しており、平成 22 年度の短期目標値は、対策を要する物品を再度選定し直し、それらに対して 1/2 の実施割合を設定しました。

実施年度	平成 21 年度	平成 22 年度
実施した対策に掛かった購入経費 (A)	1,283,203 円	883,738 円
選定した全対策を完了するための購入予算額 (B)	2,546,850 円	1,317,050 円
実施割合 (A/B)	0.50	0.67
短期目標値 [経費を基準とする実施割合]	1/3 (≒0.33)	1/2 (=0.50)
短期目標の達成度	達成	達成

耐震固定対策の実施状況は上表の通りです。

平成 22 年度の実施割合は短期目標値を上回り、短期目標を達成することができました。

#### [耐震固定対策の実施フロー]

対策基準の策定	対策要否の判断基準、対策方法の適用基準、優先順位付けの基準 ↓ (前年度の対策基準を検証してフィードバック)
対策基準に基づく評価	対象設備の選定、対策方法の決定、優先順位付け ↓ (前年度の固定方法を検証してフィードバック)
対策の計画	予算取り、本年度実施分の確定、委託業者の選定 ↓
対策の実施	業者委託、自主施工

#### [平成 22 年度の対策実施実績]

No.	対策実施物品	耐震固定方法
1	中央実験台 5 台	コーキング, L 型プレート+マット
2	作業台 9 台	コーキング, L 型プレート+マット, 耐震マット
3	分析装置 (GC) 2 台	耐震器具 SD764, 耐震マット
4	分析装置 (吸光光度計)	L 型金具
5	分析装置 (AA)	ストッパー小
6	分析装置 (自動 pH 計)	平金具+マット
7	分析装置 (VOC 分析計)	L 型金具
8	分析装置 (TOC 計)	耐震器具 SD764, スペーサー, ストッパー

9	分析装置 (Hg 自動分析装置)	スペーサー, ストッパー
10	ロータリーエボリレーター 3台	L型金具+マット, L型マット, L型金具
11	蒸留装置 2台	チェーン
12	乾燥機 2台	ベルト
13	器具乾燥機	耐震マット
14	COD 湯せん機	耐震マット
15	還流冷却装置	チェーン
16	インキュベーター 2台	耐震マット (台のみ)
17	自動濃縮装置	L型金具
18	純水製造装置 2台	ベルト
19	安全キャビネット	地震ポール, アジャスター+マット
20	クリーンベンチ 2台	地震ポール, アジャスター+マット
21	FAN 試験盤	平金具
22	冷蔵庫 6台	耐震器具 PS-3, ベルト, スペーサー, チェーン, アンカー
23	冷凍・冷蔵庫	L型金具+壁貫通ボルト
24	コンピューター 2台	耐震マット
25	試薬棚	壁に直接ネジ留め
26	薬品庫 2台	特注金具
27	棚 5台	チェーン, L型金具, SUS バンド

## 対策完了写真

## ①コーキング等による作業台等の固定

## ア) コーキング



[分析室2 中央実験台]



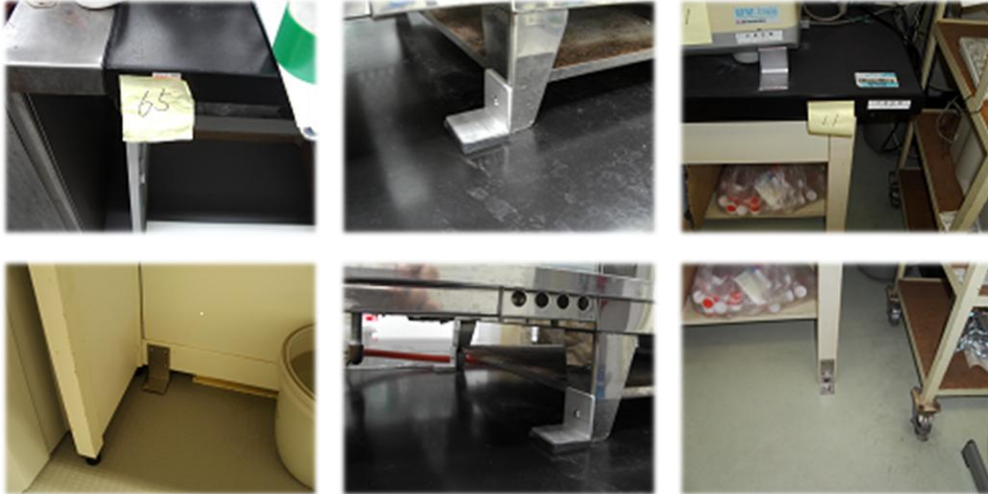
[原子吸光用作業台]



[前処理室中央作業台]



イ) L型金具+耐震マット, 又はアンカー止め



[分析室2中央実験台及びCOD湯せん機]

[吸光光度計及び作業台]

ウ) その他



[GC 用作業台]

[純水製造装置及び取り出し位置架台]

②耐震マット等による分析機器等の固定

ア) 耐震マット+SD764、ストッパー、スペーサー



[GC]

[原子吸光光度計]

[Hg 自動分析装置]

イ) 耐震マット+SD764、ストッパー、PS-3



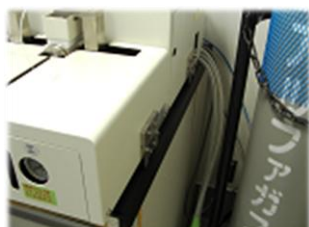
[TOC 計]



[細菌検査室冷蔵庫]



[毒劇用冷蔵庫]



③その他

ア) ネジ留め、L型金具、チェーン等



[棚]



[冷蔵庫]



[蒸留装置]



(5) 会員及び取引事業所の環境教育





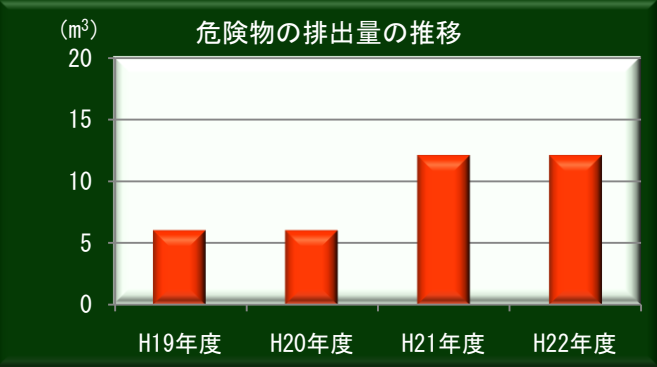
平成 22 年度に当センターが開催した環境教育は、下表の通りです。


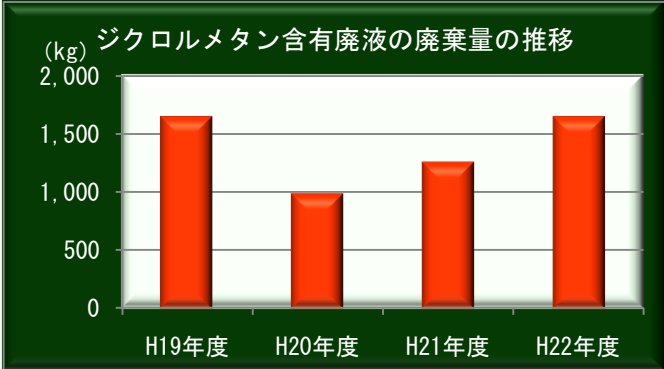



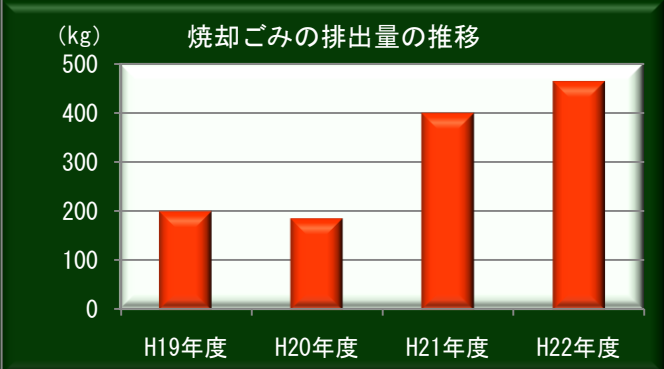
産環セミナーの第 1 回と第 2 回として、騒音・振動と悪臭の測定実務研修会を各々 1 回開催し、目標を達成しました。

環境教育内容	開催日時	開催場所	参加者数
環境情報セミナー 「企業防衛としての事業継続計画について」	平成 22 年 6 月 1 日(火) 14:30 ~ 17:00	村のうま 浜松 4 階 芙蓉の間	会員 75 名 一般 45 名
第 1 回 産環セミナー 騒音・振動測定実務研修会	平成 22 年 9 月 17 日(金) 13:30 ~ 16:00	当センター事務棟 2 階 研修室	会員 16 名 一般 9 名
第 2 回 産環セミナー 悪臭測定実務研修会	平成 22 年 10 月 22 日(金) 13:30 ~ 16:00	当センター事務棟 2 階 研修室	会員 9 名 一般 3 名
第 3 回 産環セミナー 局所排気装置とフック型換気装置の新常識	平成 23 年 2 月 4 日(金) 13:30 ~ 16:00	浜松工業技術支援セ ンター 研修室	会員 58 名 一般 13 名

## 2. 2010年度 重点管理項目

重点管理項目	活動実績とその評価
<p>1. 分析排水の下水道排出 [排水処理設備]</p> 	<p>(1) 下水排水管理手順書に基づき、技術棟から排出される分析排水を 除害する排水処理設備を管理。</p> <p>① 定期水質検査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回 排水規制項目及び自主管理項目</li> <li>・年2回 自主管理項目（排水処理、活性炭処理）</li> </ul> <p>② 定期点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検</li> <li>・月1回 機能点検（業者委託）</li> </ul> <p>(2) 異常はなく、適正な状態を維持。</p>
<p>2. 分析試薬類の取扱い [毒劇物保管表示]</p> 	<p>(1) 試薬類取扱管理手順書及び毒劇物管理手順書に基づき、技術棟の 分析業務で使用する試薬類を管理。</p> <p>① 試薬類の保管及び廃棄管理</p> <p>② 試薬類の取り扱い管理</p> <p>③ 毒劇物の保管場所の施錠管理</p> <p>④ 毒劇物の使用状況の記録管理</p> <p>(2) 異常はなく、適正な状態を維持。</p>
<p>3. 分析室ドラフト用排ガス 処理設備（スクラパー） [A棟用設備, 水洗浄]</p> 	<p>(1) ドラフト用スクラパー管理手順書に [C棟用設備, アルカリ洗浄]</p> <p>に基づき、技術棟A棟と技術棟C棟の ドラフト排ガスを除害する排ガス処 理設備を管理。</p> <p>① 定期点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回 洗浄液、ファンベルトの監視、 調整</li> </ul> <p>(2) 異常はなく、適正な状態を維持。</p> 
<p>4. ダイオキシン分析室排ガ ス処理設備 [B棟排気ライン, 活性炭吸着]</p> 	<p>(1) ダイオキシン分析室排ガス処理設備管理手順書に基づき、技術棟 B棟のダイオキシン分析室からの排気を除害する排ガス処理設備 を管理。</p> <p>① 日常点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィルター差圧の監視、異常音と振動の確認</li> </ul> <p>② 定期点検</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各稼働部の詳細点検</li> <li>・排ガス中の有機溶剤、ダイオキシン類の監視測定</li> </ul> <p>(2) 異常はなく、適正な状態を維持。</p>

重点管理項目	活動実績とその評価
<p>5. 緊急事態の対応</p> <p>[簡易消火具による消火訓練]</p> 	<p>(1) 地震等対応手順書に基づき、教育訓練を実施。</p> <p>① 防災訓練、防災教育（8月30日実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏洩事故の処理訓練（緊急対応品の使用方法に関する説明）</li> <li>・消火訓練（エアゾール式簡易消火具使用）</li> <li>・防火管理制度の概要の復習</li> <li>・消防計画に基づく検査事例報告</li> </ul> <p>② 緊急通報訓練（11月24日実施）</p> <p>夜間休日時の職員への通報システムにより、抜き打ちで通報訓練を実施。56カ所の通報先に対し、55カ所（98%）に連絡達成。</p> <p>(2) 地震等対応手順及び通報システムの管理（人員配置の整備）。</p> <p>(3) 防火管理制度の運用。</p>
<p>6. コピー用紙の使用量</p> <p>[新品と裏紙等の分別整理棚]</p> 	<p>裏紙の再使用、両面コピーの推進、報告書様式の効率化等を推進しています。</p>  <p>事業統合により増加したサイトの使用量が加算され、削減前と同量程度にまで増加しており、今後注意が必要です。</p>
<p>7. 危険物の排出量 (廃プラスチック類)</p> <p>[危険物回収ボックス]</p>  <p>回収ボックスの容量（1m<sup>3</sup>/個）</p>	<p>発泡スチロール、臭気官能試験のにおい袋等のリサイクルを推進しています。</p>  <p>事業統合により増加したサイトの排出量が加算され、排出量は2倍程度となっており、今後注意が必要です。</p> <p>* 今年度から廃棄物処理業者の都合により、重量データが得られなくなったため、回収ボックスの排出容量でグラフ化しています。過去データも同様にしています。</p>

重点管理項目	活動実績とその評価
<p>8. ジクロロメタン含有廃液の廃棄量</p> <p>[技術棟 B 棟 廃棄物保管庫]</p> 	<p>分析器具の洗浄での使用量の削減、廃液のリサイクルを推進しています。</p>  <p>委託業者への引渡し時期の関係で年度間の廃棄量に差が出ますが、H20 年度以降は増加傾向となっています。</p>
<p>9. 都市ガスの使用量 (主用途：事務棟空調機)</p> <p>[事務棟 GHP 屋外機]</p> 	<p>事務棟空調機の使用管理と負荷低減（季節毎の外部熱の遮断と取り入れ）を推進しています。</p>  <p>ここ数年ほぼ横ばいとなっています。</p>
<p>10. 焼却ごみの排出量 (一般廃棄物：紙類) [リサイクル判別見本の掲示]</p> 	<p>紙の切れ端にいたるまで、徹底的なりサイクルを推進しています。</p>  <p>従来からのサイトは 183.0 kgとここ数年ほぼ横ばいですが、事業統合により増加したサイトが 278.5 kgと比較的多く、今後注意が必要です。</p>

## V. 2010 年度 環境関連法規の違反・訴訟・苦情等

環境関連法規に対して、違反・訴訟・苦情等はありませんでした。

環 境 関 連 法 規	違 反 ・ 訴 訟 ・ 苦 情 等
下水道法（浜松市下水排除基準）	無 し
騒音規制法（静岡県環境保全条例）	無 し
振動規制法（静岡県環境保全条例）	無 し
* 大気汚染防止法（浜松市公害防止協定）	無 し
悪臭防止法（浜松市公害防止協定）	無 し
浜松市都市景観条例	無 し
廃棄物処理法	無 し

\* 当センターには、該当する規制値はありません。

### 【おわりに：2011 年度の活動に向けて】

2010 年度は、前年度の失敗を反省材料として、電力使用量の削減活動を重点的に行ったものの、ふたたび目標を達成することができませんでした。

2011 年度は、これを繰り返さないように管理体制を再整備すると共に環境側面を見直し、下記の環境目的・目標を掲げて、その達成を目指して活動している所であります。

関係各位におかれましては、当センターの活動に一層のご協力をお願いすると共に、今後ともご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2011 年度（平成 23 年度） 環境目的・目標		
目 的	中 長 期 目 標	短 期 目 標
1. 電力の使用量削減	平成 24 年度までに平成 21 年度比で 3%削減	平成 23 年度に平成 21 年度比で 2%削減
2. 社有車の実燃費向上	平成 23 年度までに平成 20 年度比で 6%向上	平成 23 年度に平成 20 年度比で 6%向上
3. 防災対策の強化	平成 23 年度までに必要な設備に対して耐震固定対策を完了	平成 23 年度に必要な耐震固定対策を完了
4. 会員及び取引先事業所の環境教育		悪臭測定実務研修会及び騒音・振動測定実務研修会の開催

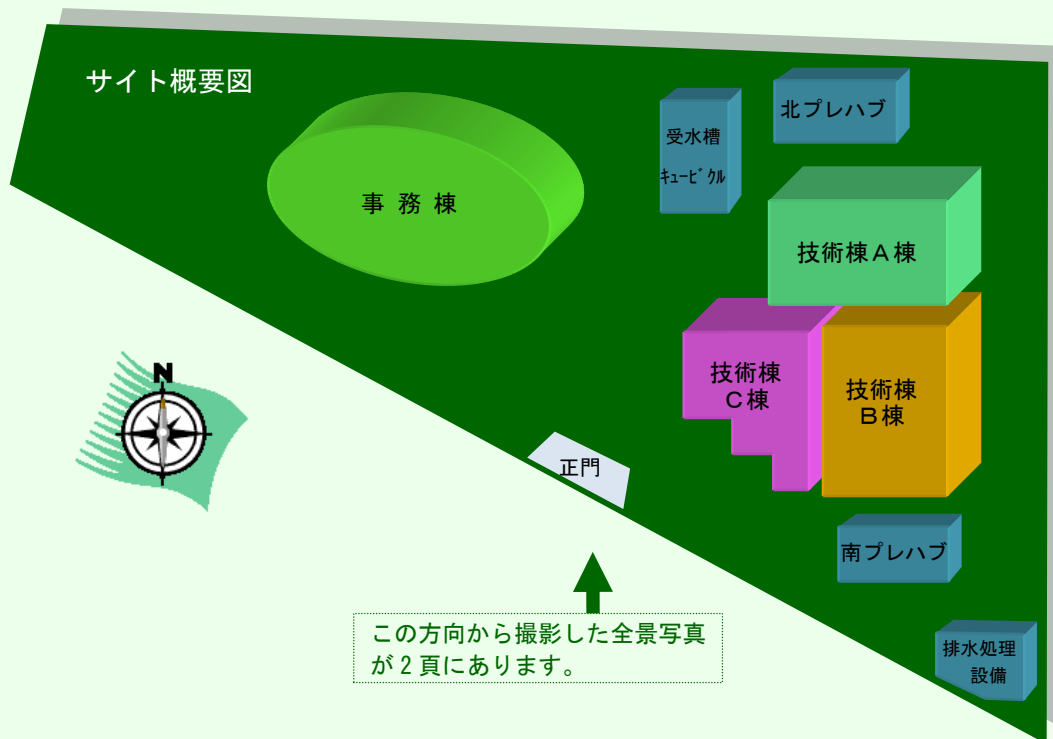
[参考資料] 2010年度 環境管理活動実績一覧

実施項目	4月	5月	6月	7月	8月
環境概要の見直し 環境概要一覧表 (※1)	見直し 4/21※1 発行				
環境方針の見直し 環境方針書 (※2)	審議 ※2 改訂なし				
環境側面の見直し 登録環境側面一覧 (※3)	データ整理 評価・特定	←4/28 ※3 発行	4月に環境側面 調査手順書改訂		
環境情報の入手 環境規約一覧 (※3')	4/1 ※3' 発行	5/11 浜松市訪問	F社より環境方 針を受領 静岡労働局より 省エネ通知		
環境目的・目標の策定 環境目的・目標一覧 (※4)	起案・審議 4/20※4 発行				
実施計画の策定 環境マネジメント実行書 (※5) 環境マネジメント年間活動計画 (※6)	※5 審議 4/20※6 発行	5/14※5 発行 ←4/19 重点管 理項目発行			
組織体制の見直し 環境マネジメント組織図 (※7)	4/1※7 発行 発行(有資格 者リスト, 責任体 制一覧)				
教育訓練の実施 環境管理教育一覧 (※8)	新入社員教育 4/21※8 発行	5/17 全社員教育 配置転換者教育			
コミュニケーション 環境報告書 (※9)	4/8トップ・ヘルプ の改善報告	※9 原稿作成	←5/15※9 発行 総会で※9 配付		静岡県よりクリーン エネルギー導入意識 アンケート
システム文書の見直し	見直し・改訂 外部文書一覧	発行 空調機手順書	改訂		
組織外部への伝達 運用管理項目一覧 (※10)		←4/19 ※10 発行			
緊急事態への準備と対応 通報システム (※11)	4/1※11 改訂		訓練の計画	← 備品チェック	訓練準備
監視及び測定 敷地境界線騒音 敷地境界線振動 実験下水排水 B棟局排 有機溶剤 B棟排気口周辺 D×N B棟活性炭処理排水 D×N	4/19 発行 (計 ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇	画一覧, スケジュー ル, 測定機器 ◇ ◇ ◇ ◇ ◇	◇ ◇ ◇ ◇ ◇	◇ ◇ ◇ ◇ ◇	◇ ◇ ◇ ◇ ◇
環境部会による運用状況評価	◇	◇	◇	◇	◇
是正処置及び予防処置	排水への有害物 混入有無調査	左記調査結果 に係る確認測定		構内環境パトロール の指摘事項改善	
外部審査と内部監査	4/1 内部監査 プログラム発行		外部審査 の準備	7/6, 7 外部審査	外部審査結果 の対応検討
マネジメントレビュー	前年度レビューの ENC 発行 (3件)				
環境管理委員会議の開催	◇4/19		◇6/21		◇8/9
その他、社会奉仕活動等		5/22 磐田市の自 然観察教室へ講 師派遣	6/1 環境情報セミナー ←6/28 構内環境 パトロール	7/21 関東経済産業 局委託事業ビジネス マッチングフェアの後援	

青字は計画通り実施 赤字は変更または追加して実施  
 コンパクトに表記しているため、わかりにくい箇所がありますがご容赦下さい。

9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
						次年度方針 起案
	Y社より CSRレポート受領	静岡労働局より 省エネ通知				
						次年度計画 起案
						次年度組織 起案・審議
		浜松市より環境 教育アンケート、クリー ンエネルギーアンケート		経済産業省より PRTRアンケート 日本産業廃棄物処 理振興センターより 電子マニフェストアンケート		
タケツ分析室 排ガス処理設備 管理手順書改訂	廃棄物管理手 順書改訂					
	取引先 見直し					
← 8/30 防災訓練		11/24 通報訓練				
◇ ◇	◇ ◇	◇ ◇ ◇ ◇	◇ ◇	◇ ◇	◇ ◇	◇ ◇
◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇
		朝礼にて電力使 用量削減を喚起	廃液の染み出し ENC 発行 B棟シロメタン排 出ガスの検討			電力削減 ENC 発行
			定期内部監査 の計画		2/11 定期内部監査	
			レビュー の計画			3/22 レビュー
	◇10/18		◇12/20		◇2/25	◇3/23
9/17 騒音振動測 定実務研修会	10/22 悪臭測 定実務研修会		12/27 不要書類 一斉処分		2/4 局排・プッシュ プル講習会	

【記載説明】  
 1. 変更内容の記号  
 ← 前倒し  
 → 先送り  
 — 中止（取消し線）  
 2. 記載欄中のゴシック体表示は、改  
 善に係る事項



環境報告書 2011

2011年（平成23年）5月16日発行

発行：社団法人 静岡県産業環境センター 環境管理委員会

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田一丁目4番6号

TEL 053 (428) 3430 FAX 053 (428) 3447

E-mail: jimukyoku@sankan.or.jp

<http://www.sankan.or.jp>

発行責任者：環境管理責任者 清水 正昭